



夏 真只中であ

暑い日々が続きますのび気を付けて下さい!!

夏競馬も、終盤になり、成績も下降します。(あー)

ハグー 欲しいよー!!

今日は初日がなし、ごめんね!! (忘れてました)

次回おに、初作で置さまーあ(???)

おじぎについて

今回はお辞儀について紹介したいと思います。

お辞儀はいつから始まった?

「お辞儀」は飛鳥時代から奈良時代に、中国の礼法(立礼)を取り入れたのが始まりとされているようですが、それまでは上下座をしていたとか。「魏志倭人伝」の原文・現代文の中に“下層階級の者が貴人(身分の高い人)に道で出会ったときは、ひざまずいて両手を地面につけてうやまつた”というような内容があった。身分の高い人に対して頭を下げるという習慣があったようです。

また、現在のような立礼は、第40代天武天皇(?~686年)が、両手を地面につけ、ひざまずいて行う礼法を禁止し、立礼することを命じたからだとも言われています。天武天皇は新しい国家を目指して律令の制定を命じたと同時に、日本を立礼国家にもしたと言われています。

「お辞儀」は、どんな時に使用しますか?

「お辞儀」は、どんな時に使用しますか?

- 挨拶をする時
- お礼を言う時
- 謝罪をする時
- お願いをする時
- 寺社へ参拝する時

など、多くの場面で日常的に私たちは使っています。

よく考えてみると、目の前に相手がいらないのに電話口で頭を下げて挨拶をしたり、お願いのメールを送る時も「お願いします」と頭を下げながら送信ボタンを押したりと、無意識に行っています。

「お辞儀」の本来の意味は“自分が相手に対して敬意がない。頭を下げることで無防備である”ということを示していると言われています。現在では、敬意がないとか、無防備だというよりも、頭を下げることで相手に対する敬意や感謝、申し訳ないという気持ちを伝える動作ということになるのでしょうか。

お辞儀の種類

お辞儀をする習慣は、日本だけでなく中国や韓国などアジア諸国のほか、欧米などでも見られるようですが、アジアでは一般的に使用され、欧米では儀礼的に使用するという違いがあると言います。しかし、「お辞儀」に関する言葉や動作の種類が世界的に見ても豊富で、しかも用途により使い分けている国は日本だけだそうです。

一般的なお辞儀の形には「会釈」「敬礼(普通の礼)」「最敬礼」の3つがあります。「会釈」は上体を15度くらい、「敬礼(普通の礼)」は30度くらい、「最敬礼」は45度くらい傾けて行います。「会釈」は朝夕などの簡単な挨拶の時、「敬礼(普通の礼)」はお客様や目上の人に対して、「最敬礼」は感謝の気持ちやお詫びをする時や、高貴の方に対して用います。

上記以外にも職業や場面によりお辞儀の形はいろいろあるようです。日本で行われている「ラグビーワールドカップ2019」では、海外選手による「お辞儀」が話題になっています。ニュージーランド対南アフリカ戦では、真っ黒なユニフォームを着た多くの日本人ファンに感激し、ニュージーランドの選手たちが感謝の気持ちを込めて「90度のお辞儀」を行ったというニュースがありました。以降、イタリアやサモア、ロシアなど次々と日本式の「お辞儀」が広まりました。ラグビー選手たちの日本に対するリスペクトや日本人ファンに対する感謝の気持ちがよく伝わり、そのシーンに目頭を熱くした人も多かったのではないのでしょうか。

お辞儀はコミュニケーションの入口とも言われ非常に大切なものですが、心が伴っていないれば意味がありません。「ラグビーワールドカップ2019」で行われた海外のラグビー選手による「お辞儀」は、心が伴っていたからこそ、私たち日本人の心に響き、ラグビーファンならずとも記憶に残ったのではないのでしょうか。

周囲の人に敬意を払い、感謝の気持ちを持ち、素直な心で自然と「お辞儀」ができるようになりますね。そして「日本人は礼儀正しい」と言われ続けたいものです。

以上、MYでした
(キナトヨ)



MY

もも子 よもやまばなし

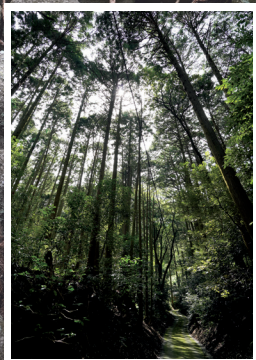
長月：露草の間

今年はまだ秋を感じられずにいます。9月は台風が増える時期ですね...今まさに台風10号「サンサン」がノロノロと自転車並みのスピードで日本列島を横断しようとしています。地震に台風、慌てて買占めに走るのではなく、日頃から備えておきたいですね!スーパーにお米がない!令和の米騒動もいつまで続くのでしょうか...



▼視界がひらけ、乱雑に並ぶおびたしい数の石仏が...これはもう、石仏のワンダーランドや~

▼蝉時雨と、虫の羽音と、千二百余体の石仏に囲まれて過ごす夏のひととき



▲昼なお暗い深い森の奥にそれはある...

【歴史のはなし】
明治の中頃、村人が霊夢によるお告げを受けて、信長の焼き討ち以来廃寺になっていた寺院跡を掘って見たら石仏が出るわ出るわ、で祀ったそうです



王王王王
ヒヒヒッバ

湖を取り囲む
大小の様々な市と町

滋賀といえば「琵琶湖」
その面積は東京23区より広いという
他に思い浮かぶのは「信楽焼」「ひこにゃん」
「TMRevolution」...車の旅行で通過して「米原」
「栗東」などいくつかの地名を知っていた程度
そんな私が最近、「草津市」に出かける用事があった
ああ、温泉で有名な、いやそれは群馬県の「草津」だと
あとで知った

地図を眺めてみると、
県の外周をかなり大きめの市が
取り囲み、湖の南東部には
比較的小さな市や町が密集し、
全体としてバランスよくまとまって
安定感のある形をしている



歴史、特に戦国の動乱期に
ゆかりのある史跡の宝庫である
今度はそれらをいろいろ回りたい

2024年
夏の思い出
山奥の
石仏群
「柏尾廃寺千体仏」



やま